

資料2

令和2年度社会福祉推進事業 ひきこもり支援者対象アンケート調査（支援者情報）

＊締切を延長して、3月9日（火曜日）まで支援者の皆様からの入力をお待ちしております。

<事業名>

令和2年度 厚生労働省社会福祉推進事業：
ひきこもりの多様性とその支援手法に関する調査研究事業
（令和2年度社会福祉推進事業 課題番号19）

<事業内容>

ひきこもり（ひきこもり状態にある不登校児童生徒含む。以下同じ）当事者の状態や背景は事例ごとに様々であり、また多様な支援者がひきこもり支援を担当している現状があります。本事業では、現在多様な機関・多様な支援者により実践されているひきこもり支援の具体的な手法、支援者のニーズや課題等について、調査分析を行います。多様な機関、多様な支援者がそれぞれの強みを生かした連携体制の整備や活用可能なひきこもりの支援手法について検討することを目的とします。

<本調査の対象>

全国の精神保健福祉センター、ひきこもり地域支援センター、生活困窮者自立支援機関、市町村ひきこもり支援担当課、保健所、発達障害者支援センター、地域若者サポートステーション、児童相談所、教育支援センター（受託団体含む）、教育機関（受託団体含む）等を対象とした調査を行います。

★注 同一のケースを複数のスタッフで担当している場合も、それぞれの担当がご回答ください。

<調査内容>

調査内容としては、スキル、専門性、経験等が異なる多様な支援者により、状態や背景の異なるひきこもり当事者・家族の方々にどのような支援を実践しているか等それぞれの地域支援の実情・課題や支援者の教育システム等について調査します。

★注1 回答は明確な数値等が不明な場合、概ねでお答えください。

★注2 本調査では、多くの方々に回答頂きたいという趣旨から、「ひきこもり」の明確な定義を行っておりません。よって、「不登校」の方や「過去にひきこもり状態を経

験された方」等も含め、幅広く「ひきこもり」をとらえた上でご回答下さい。

<調査結果と今後の予定>

この調査結果を、ひきこもり支援者間で共有できるシステムの構築を図るとともに、調査結果を元に医学的観点のみならず、福祉的観点、専門資格を有しない支援者の観点等、多職種・複数の専門家により多角的にひきこもり支援の現状を分析し、地域や支援施設による支援の特徴・課題の抽出など今後のひきこもり支援のあり方について検討する予定です。

★注 結果の公表は施設や個人が特定されないよう配慮いたします。

みなさまのご意見が、今後のひきこもり支援の検討に大きな指針となります。ぜひ、忌憚なきご意見をいただければと存じます。

国立国際医療研究センター国府台病院
児童精神科診療科長
子どものこころ総合診療センター長
宇佐美 政英

* 必須

1. 基本情報 *

あなたが所属する施設名

2. 基本情報 *

施設の種別を選んで下さい 複数回答可

- 自治体のひきこもり支援担当課
- ひきこもり地域支援センター
- 精神保健福祉センター
- 保健所、保健センター
- 発達障害者支援センター
- 児童相談所、児童家庭センター
- 子ども若者相談支援センター
- 教育支援センター等(受託団体含む)
- 教育機関(受託団体含む)
- 地域若者サポートステーション
- ハローワーク、ジョブカフェ
- 生活困窮者自立支援機関
- 地域包括支援センター
- 福祉事務所、社会福祉協議会
- 障害者支援関連機関
- 民間団体、民間企業、NPO
- 家族会、当事者団体
- その他

3. 基本情報 *

あなたの資格をお教えてください。複数回答可

心理士(公認心理師もしくは臨床心理士の資格あり)

心理士(公認心理師もしくは臨床心理士の資格なし)

看護師

保健師

精神保健福祉士

社会福祉士

作業療法士

医師

その他

4. 基本情報 *

あなたの性別をお教えてください。

男性

女性

その他

5. 基本情報 *

あなたの年代をお教えてください。

20歳代

30歳代

40歳代

50歳代

60歳代

70歳代以上

その他

6. 基本情報 *

あなたのひきこもり支援に関与した通算年数をお教えてください。

- 初年度
- 2年目
- 3年目
- 4年目
- 5年目
- 6年目
- 7年目
- 8年目
- 9年目
- 10年目以上

7. 基本情報 *

あなたがひきこもり支援で担当している業務は何ですか。複数回答可

- 電話相談
- メール、SNS相談
- 当事者個別相談(来所)
- 家族相談(来所)
- 家族会、家族の勉強会
- 居場所、フリースペース
- 当事者グループ、デイケア支援
- 訪問、アウトリーチ支援
- 同行支援
- 体制整備
- 普及啓発活動
- 調査研究
- 職業体験、就労支援

その他

令和元年度の担当したひきこもり当事者について

ここからは、令和元年度の担当したひきこもり当事者について教えてください。

8. 令和元年度（2019年4月1日～2020年3月末）、あなたが担当したひきこもり当事者について（年齢、性別）

それぞれ対象の人数をお選びください（令和2年度が初任の場合この質問はスキップして下さい）

	0名	1～5名	6～10名	11名以上
15歳以下 男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15歳以下 女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16-19歳男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16-19歳女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20代 男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20代 女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30代 男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30代 女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
40代 男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
40代 女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
50代 男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
50代 女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
60代以上 男性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
60代以上 女性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

9. 令和元年度、あなたが担当したひきこもり当事者について（ひきこもり期間）

ひきこもり期間について当てはまる人数をお選びください（令和2年度が初任の場合この質問はスキップして下さい）

	0名	1～5名	6～10名	11名以上
ひきこもり期間 1年未満の当事者数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1～5年の当事者数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5～10年の当事者数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10年以上の当事者数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

10. 令和元年度、あなたが担当したひきこもり当事者について（不登校歴、精神科通院歴）

令和元年度末の時点での状況で当てはまる人数をお選びください（令和2年度が初任の場合この質問はスキップして下さい）

	0名	1～5名	6～10名	11名以上
義務教育年代の不登校 歴を認めた人数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
精神科医療機関に現在 通院中の人数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
精神科医療機関へ通院 歴はあるが、現在通院し ていないケース数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
統合失調症、うつ病、躁 うつ病の診断があるケー ス数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

統合失調症、うつ病、躁うつ病等の精神疾患が疑われるケース数

自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠陥多動性症状(ADHD)など診断があるケース数

自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠陥多動性症状(ADHD)などの疑いがあるケース数

知的障害(療育手帳)のあるケース数

知的障害を疑うケース数

当事者への支援内容について

ここでは、当事者への支援内容についてあなたの経験を教えてください。

11. 当事者への支援内容について *

あなたはひきこもり当事者に対し、行ったことのある支援を選んで下さい(複数回答可)

- 電話相談
- メール・SNS相談
- 当事者個別相談(来所)
- 家族相談(来所)
- 家族会、家族の勉強会
- 居場所・フリースペース
- 当事者グループ・集団療法
- デイケア
- 訪問、アウトリーチ
- 同行支援
- ボランティア活動
- 職業体験、就労支援
-

その他

12. 家族支援について *

実際に行ったことのある家族支援についてお選びください(複数回答可)

- 家族支援の経験無し
- 電話相談
- メール・SNS相談
- 家族個別相談(来所)
- 訪問・アウトリーチ
- 家族会
- 家族を対象とした勉強会、研修会



その他

13. 家族支援を行った方にご質問です

家族支援に関する困難点を自由にご記入ください

14. 効果的な支援内容について

当事者に好転が見られるケースの支援や今までの支援経験から、下記の支援の効果性を点数化(0,1,2,3,4)して下さい

0; やっていない

1; 効果なし

2; 少し効果あり

3; 効果あり

4; 非常に効果あり

	0	1	2	3	4
電話相談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メール・SNS相談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
当事者個別相談(来所)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家族相談(来所)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家族会、勉強会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
居場所・フリースペース	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
当事者グループ・集団療法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
デイケア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
訪問、アウトリーチ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同行支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ボランティア活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職業体験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
就労支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

15. 精神症状を有する場合の支援について

精神症状（不眠、幻覚妄想、激しい気分の変動、不安恐怖、強迫症状、希死念慮、依存症など）が強く認められるケースに対して、実際にどのように支援していることが多いでしょうか？（複数回答可）

- 支援していない、該当者がいない、わからない
- 継続支援で経過を観察する
- 保健所や精神保健福祉センターを紹介する
- 医療受診を勧め一旦支援を終結とする
- 医療機関に繋がりたいが、連携先がない（成人ケース）
- 医療機関に繋がりたいが、連携先がない（児童ケース）
- 医療と連携して継続支援をする

その他

16. 発達障害を有する場合の支援について

自閉スペクトラム症(ASD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)の診断がついているケースに対して、実際にどのように支援していることが多いでしょうか？（複数回答可）

- 支援していない、該当者がいない、わからない
- 継続支援で経過を観察する
- 保健所や精神保健福祉センターを紹介する
- 発達障害者支援センターを紹介する
- 医療受診を勧め一旦終結する
- 発達障害者支援センターと連携して継続支援する
- 医療機関に繋がりたいが、連携先がない(成人ケース)
- 医療機関に繋がりたいが、連携先がない(児童ケース)
- 医療と連携して継続支援をする

その他

17. 暴力行為を伴う場合の支援について

家庭内暴力等、暴力行為を伴うケースに対し実際にどのように支援していることが多いですか？（複数回答可）

- 支援していない、該当者がいない、わからない
- 継続支援で経過を観察する
- 保健所や精神保健福祉センターを紹介する
- 医療機関の受診を勧め一旦支援を終結
- 医療機関に繋がりたいが繋ぎ先がない（成人ケース）
- 医療機関に繋がりたいが繋ぎ先がない（児童ケース）
- 市町村支援者等地域の支援者と連携して支援する
- 警察と連携して支援する



その他

世代別の支援について教えてください。

ここでは中学生以下の不登校の方への支援について教えてください。

18. 世代別の支援について（中学生以下） *

中学生以下の不登校の方を支援された経験がありますか？

- ある → 支援内容についてお聞かせください
- ない → 次の世代(中学卒業後～20歳未満)の設問に進みます

19. 世代別の支援内容について（中学生以下）

中学生以下のケースに対して、実際にどのように支援していることが多いでしょうか？（複数回答可）

- 継続支援で経過を観察する
 - 教育機関の支援資源を紹介する
 - 教育機関と連携し支援する
 - 医療機関につなぐ
 - 医療と連携して継続支援をする
 - 発達障害者支援センターにつなぐ
 - 発達障害者支援センターと連携して支援する
 - 子ども若者相談支援センターにつなぐ
 - 子ども若者相談支援センターと連携して支援する
 - 保健所や精神保健福祉センターにつなぐ
 - 児童相談所、児童家庭センターにつなぐ
 - 児童相談所、児童家庭センターと連携して支援する
 -
- その他

20. 世代別の支援内容について（中学生以下）

中学生以下のケースに対して、実際に支援して難しさを感じるのほどのようなことが多いでしょうか？（複数回答可）

- 発達障害の有無の判断が難しい
- 発達障害の特徴が強く支援が難しい
- 精神疾患の有無の判断が難しい
- 精神症状が強く支援が難しい
- 支援の継続が難しい
- 支援するが変化が乏しい
- 回復のイメージがわからない
- 支援の方向性がわからない
- 何を扱っていいかわからない
- 本人に会えない
- 児童精神科の専門医療機関がない

その他

21. 世代別の支援内容について（中学生以下）

中学生以下のケース支援に対して、どのようなことがあったらよりよい支援につながると思われますか？（複数回答可）

- 成功事例を知りたい
- 発達障害に対する知識を得る機会
- 精神障害に対する知識を得る機会
- ひきこもり(不登校)支援に対する知識を得る機会
- 支援困難時の相談先
- 連携先や支援資源の情報
- 他機関の支援の実態を知る機会
- やりたい支援があってもマンパワーがたりない
- やりたい支援があっても予算がない
- 教育機関との連携
- 医療機関との連携
- 発達障害者支援センターとの連携
- 家族の協力が得にくい
- 経済的困窮がある
- 児童相談所、児童家庭センターとの連携
-

その他

世代別の支援について教えてください。

ここでは、中学卒業後～20歳未満のひきこもりの方を支援された経験について教えてください。

22. 世代別の支援について（中学卒業後～20歳未満） *

中学卒業後～20歳未満のひきこもりの方を支援された経験がありますか？

- ある → 支援内容についてお聞かせください
- ない → 次の世代(20～50歳未満)の設問に進みます

23. 世代別の支援内容について（中学卒業後～20歳未満）

中学卒業後～20歳未満のケースに対して、実際にどのように支援していることが多いでしょうか？
（複数回答可）

- 継続支援で経過を観察する
- 教育機関の支援資源を紹介する
- 教育機関と連携し支援する
- 医療と連携して支援をする
- 医療機関につなぐ
- 保健所や精神保健福祉センターにつなげる
- 子ども若者相談支援センターにつなぐ
- 子ども若者相談支援センターと連携して支援する
- 生活困窮者自立支援機関につなげる
- 生活困窮者自立支援機関と連携して支援する
- 就労支援につなげる
- 就労支援と連携して支援する
- 地域若者サポートステーションにつなげる
- 地域若者サポートステーションと連携し支援する
- 発達障害者支援センターにつなぐ
- 発達障害者支援センターと連携して支援する



その他

24. 世代別の支援内容について（中学卒業後～20歳未満）

中学卒業後～20歳未満のケースに対して、実際に支援して難しさを感じるのはどのようなことが多いでしょうか？（複数回答可）

- 発達障害の有無の判断が難しい
- 発達障害の特徴が強く支援が難しい
- 精神疾患の有無の判断が難しい
- 精神症状が強く支援が難しい
- 支援の継続が難しい
- 支援するが変化が乏しい
- 回復のイメージがわからない
- 支援の方向性がわからない
- 何を扱っていいかわからない
- 本人に会えない
- 連携できる医療機関がない
- 家族の協力が得られにくい
- 経済的困窮がある
-

その他

25. 世代別の支援内容について（中学卒業後～20歳未満）

中学卒業後～20歳未満のケース支援に対して、どのようなことがあったらよりよい支援につながると
思いますか？（複数回答可）

- 成功事例を知りたい
- 発達障害に対する知識を得る機会
- 精神障害に対する知識を得る機会
- ひきこもり(不登校)支援に対する知識を得る機会
- 支援困難時の相談先
- 連携先や支援資源の情報
- 他機関の支援の実態を知る機会
- やりたい支援があってもマンパワーがたりない
- やりたい支援があっても予算がない
- 教育機関との連携
- 医療との連携
- 発達障害者支援センターとの連携
-

その他

世代別の支援について教えてください。

ここでは、20歳～50歳未満のひきこもりの方を支援された経験について教えてください。

26. 世代別の支援について（20歳～50歳未満） *

20歳～50歳未満のひきこもりの方を支援された経験がありますか？

- ある → 支援内容についてお聞かせください
- ない → 次の世代(50歳以上)の設問に進みます

27. 世代別の支援内容について（20歳～50歳未満）

20歳～50歳未満のケースに対して、実際にどのように支援していることが多いでしょうか？（複数回答可）

- 継続支援をしている
- 医療機関につなげる
- 医療機関と連携して支援している
- 生活困窮者自立支援機関につなげる
- 生活困窮者自立支援機関と連携して支援している
- 就労支援につなげる
- 就労支援と連携して支援している
- 保健所や精神保健福祉センターにつなぐ
- 地域若者サポートステーションにつなぐ
- 地域若者サポートステーションと連携して支援する
- 発達障害者支援センターにつなぐ
- 発達障害者支援センターと連携して支援する
-

その他

28. 世代別の支援内容について（20歳～50歳未満）

20歳～50歳未満のケースに対して、実際に支援して難しさを感じるのほどのようなことが多いでしょうか？（複数回答可）

- 発達障害の有無の判断が難しい
- 発達障害の特徴が強く支援が難しい
- 精神疾患の有無の判断が難しい
- 精神症状が強く支援が難しい
- 支援の継続が難しい
- 支援するが変化が乏しい
- 回復のイメージがわからない
- 支援の方向性がわからない
- 何を扱っていいかわからない
- 本人に会えない
- 支援についての相談先がない
- 連携できる医療機関がない
- 家族の協力が得にくい
- 経済的困窮がある
-

その他

29. 世代別の支援内容について（20歳～50歳未満）

20歳～50歳未満のケースに対して、どのようなことがあったらよりよい支援につながると思われますか？（複数回答可）

- 成功事例を知りたい
- 発達障害に対する知識を得る機会
- 精神障害に対する知識を得る機会
- ひきこもり支援に対する知識を得る機会
- 支援困難時の相談先
- 連携先や支援資源の情報
- 他機関の支援の実態を知る機会
- やりたい支援があってもマンパワーが足りない
- やりたい支援があっても予算がない
- 医療との連携
- 発達障害者支援センターとの連携
-

その他

世代別の支援について

ここでは、中高年（50歳以上）の方を支援された経験がありますか？

30. 世代別の支援について（中高年 50歳以上） *

中高年(50歳以上)の方を支援された経験がありますか？

- ある → 支援内容についてお聞かせください
- ない → ガイドラインに関する設問に進みます

31. 世代別の支援内容について（中高年 50歳以上）

中高年(50歳以上)のケースに対して、実際にどのように支援していることが多いでしょうか？（複数回答可）

- 継続支援で経過を観察する
- 保健所や精神保健福祉センターを紹介する
- 市町村等の地域支援者を紹介する
- 市町村の支援者と連携して支援する
- 生活保護等支援資源利用につなげる
- 地域包括支援センターと連携して継続支援する
- 生活困窮者自立支援機関につなぐ
- 生活困窮者自立支援機関と連携して支援
- 医療機関につなぐ
- 医療機関と連携して支援
- 発達障害者支援センターにつなぐ
- 発達障害者支援センターと連携して支援する
-

その他

32. 世代別の支援内容について（中高年 50歳以上）

中高年のケースに対して、実際に支援してどのような困難感を感じる人が多いでしょうか？（複数回答可）

- 発達障害の有無の判断が難しい
- 発達障害の特徴が強く支援が難しい
- 精神疾患の有無の判断が難しい
- 精神症状が強く支援が難しい
- 支援の継続が難しい
- 支援するが変化が乏しい
- 回復のイメージがわからない
- 支援の方向性がわからない
- 何を扱っていいかわからない
- 本人に会えない
- 連携できる医療機関がない
- 家族の協力が得にくい
- 経済的困窮がある
-

その他

33. 世代別の支援内容について（中高年 50歳以上）

中高年のケースに対して、どのようなことがあったらよりよい支援につながるとおもいますか？（複数回答可）

- 成功事例を知りたい
- 発達障害に対する知識を得る機会
- 精神障害に対する知識を得る機会
- ひきこもり支援に対する知識を得る機会
- 支援困難時の相談先
- 連携先や支援資源の情報
- 他機関の支援の実態を知る機会
- やりたい支援があってもマンパワーがたりない
- やりたい支援があっても予算がない
- 連携できる医療機関
- 発達障害者支援センターとの連携
-

その他

34. ひきこもり支援全体についてのご意見

ひきこもり支援の充実のために今後必要と思われる施策や対策、支援についてのご意見や、支援でお困りの事など日頃からお考えがありましたら自由にお書きください

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」について

ここからは、「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」について実際の支援の現場での意見を教えてください。

35. 「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」について

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」は利用されたことはありますか？

http://www.ncgmkohndai.go.jp/subject/100/22ncgm_hikikomori.pdf

(http://www.ncgmkohndai.go.jp/subject/100/22ncgm_hikikomori.pdf)

- 実際に利用している
- ガイドラインは知っているが、実際には使っていない
- ガイドラインを知らない

その他

36. 「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」について

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」を実際に利用された人にお聞きします。

有用と感じるガイドラインの項目は以下のどれになるでしょうか（複数回答可）

- 2-1 ひきこもりの定義
- 2-2 ひきこもりと不登校
- 2-3 ひきこもりとニート
- 2-4 わが国のひきこもりの出現率
- 2-5 ひきこもりと思春期心性
- 2-6 ひきこもりと精神障害
- 2-7 ひきこもりと発達障害
- 2-8 ひきこもりを支援対象とする理由
- 2-9 ひきこもりの長期化とその予防について

- 3-1 評価のための基本的視点
- 3-2 適切な評価が行われるための環境
- 3-3 ひきこもりと関係の深い精神障害とその特徴
- 3-4 とくに留意すべき精神障害
- 3-5 家族しか相談に訪れない場合の精神障害の評価についての考え方
- 3-6 ひきこもりの段階を知ること
- 3-7 診断と支援方針に基づいた分類
- 4-1 ひきこもり支援の多次元モデル
- 4-2-a ひきこもり支援を提供できる機関
- 4-2-b 地域の専門機関が連携することで得られるもの
- 4-2-c 地域における連携ネットワーク設置の注意事項
- 4-2-d ひきこもり支援におけるプライバシーの保護と守秘義務
- 4-3-a 家族しか来談していない事例の相談
- 4-3-b 家族に向けた心理・社会的支援法
- 4-4-a 当事者への支援の考え方
- 4-4-b ひきこもりを抜け出すための当事者への支援と治療とは何か
- 4-4-c 当事者との初期の面談における留意点
- 4-4-d 当事者のための心理・社会的支援とは何か
- 4-4-e ひきこもりに対する薬物療法の考え方
- 4-4-f ひきこもり支援の終結のタイミング
- 4-5-a 訪問支援を考慮するタイミング
- 4-5-b 訪問実施前の準備段階で検討すべきこと

4-5-c 訪問開始に向けた家族との準備

4-5-d 訪問時に心得ておくべきこと

4-5-e 当事者が拒否する場合の対応

4-5-f 訪問支援の着地点(ゴール)

4-6-a 専門機関に相談する前にできること

4-6-b ひきこもりの支援に関する啓発活動

4-6-c 緊急時の対応に関する考え方

5-1 ひきこもり支援の今後の課題

5-2 本ガイドラインの限界

その他

37. 「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」について

全ての人にお聞きします。ガイドラインで今後強化すべき内容はありますか？(複数回答可)

- 児童期(不登校)の支援について
- 中高年の支援について
- 発達障害のひきこもり支援
- ネット依存等依存症の併存
- 家族支援について
- SNSやインターネットを利用した支援について
- アウトリーチや訪問支援について



その他

ご登録ありがとうございました。

最後までアンケートのご記入をありがとうございます。ぜひ、今後のひきこもり支援の発展のためにも現場の皆様の忌憚なきご意見をいただければと存じます。

38. 今後このようなアンケート調査で知りたいことやテーマにしたいことなどご要望がありましたら自由にお書きください

39. この結果をホームページ上に公開していく予定です。公開に関してのご連絡をご希望される方は、以下にメールアドレスをご記載ください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。
3/27/2021

